

所変われば品変わる！魚の呼び名 Part Ⅲ マアジ編

海洋生産技術担当 石川陽子

Key word: 標準和名，地方名，マアジ，マルアジ，アカアジ，メアジ

地方名と標準和名

魚の名前は地域によって変わります。各地での呼び名を「地方名」、それに対して、図鑑などで全国共通に使うよう決められた呼び名を「標準和名」といいます。魚の呼び名シリーズも 3 回目を迎えました。今回はちょっと趣向を変えて、あじの仲間のうち、マアジとそれによく似た魚たちを紹介したいと思います。なお、本シリーズでは標準和名はカタカナ、地方名はひらがなで書いて区別することにします。

「あじ」と言えばマアジ

「あじ」と言えば、刺身、干物、フライ、南蛮漬けでおなじみの、味が良いから「あじ」と名付けられたとも言われるおいしい魚です。一般的に「あじ」と呼ばれているのは標準和名マアジという魚です（写真 1）。



写真1. マアジ (*Trachurus japonicus*)

徳島県では全県的に獲れますが、特に海部郡の定置網で、小型のいわゆる「豆あじ」が多く水揚げされます。

マアジは多く水揚げされる魚だからか、単に「あじ」と呼ばれるほか、サイズによって、小さなものは「あじな子」「あじ子」、中くらいで「中手」「とつか（十束、両手の十本の指で掴むほどのサイズの意味）」など特有の名前で呼ばれることもあります。また、次に紹介する「マルアジ」との対比で「平あじ」、マルアジが「青あじ」と呼ばれるのに対して「赤あじ」などと呼ばれたりもします。

マアジのそっくりさん

とてもメジャーなマアジですが、あまり有名でないとてもよく似た魚がいま

す。その名も「マルアジ」。一見マアジと同じように見えます。大きな違いは、マアジは楕鱗（ゼンゴと呼ばれるかたいうろこ）がカーブを描いて頭の近くからあるのに対し、マルアジはそれが体の後ろの方にしかないこと、またマルアジの尾柄（尾びれの付け根の細い部分）には背中側とおなか側にそれぞれ小さなひれがあること。強いて言えば、輪切りにした断面がマアジより「丸い」ような気がします。Part I で紹介したマルソウダ、ヒラソウダでもそうでしたが、魚では「まる」より「ひら」の方が上等とされる傾向があるようです。見た目の違いは小さいですが、値段はマアジより1ランク以上低いことがほとんどで、漁業の現場でははっきり区別されています。また、マアジがアジ科マアジ属なのに対しマルアジはアジ科ムロアジ属で、分類的にも兄弟より遠い関係です。マアジより体色が若干青っぽいとされることから「青あじ」、小さなものは「青子」などとも呼ばれます。



写真2. マルアジ (*Decapterus maruadsi*)

マルアジの兄弟分に同じムロアジ属の「アカアジ」という魚がいます（写真3）。マアジが「赤あじ」と呼ばれるのに対し、海陽町鞆浦ではアカアジの方を「紅あじ」と呼んで区別していますが、水揚げが少ないのでマルアジなどと区別しない地域も多いようです。マアジ、マルアジにそっくりですが、胸鰭と尾鰭が赤味を帯びているのが特徴です。



写真3. アカアジ (*Decapterus akaadsi*)

アジ科メアジ属の「メアジ」も、マルアジほどではありませんがマアジに似

ています（写真 4）。マアジ、マルアジと比べ目が大きい印象が名前の由来のようです。全県的に獲れるマアジ、マルアジに対し、メアジは県南で主に水揚げされ、海陽町鞆浦などでは「とっぱく」、宍喰では「かめあじ」と呼ばれています。いずれも由来ははっきりしませんが、淡路島などでは大型のマアジを「とっぱく」というそうなので、もしかしたら「とっぱく」は「十握」でマアジの別名「とつか」と同様、サイズ感を表す名前なのかもしれません（そういえば水揚げされるメアジのサイズはおおよそ「とつか」と似通っている気がします）。メアジは、マアジやマルアジにある鰓蓋の黒い斑点が無く、代わりに凹みがあります。またムロアジ属の特徴の尾柄の小さな鰭也没有。



写真4. メアジ(*Salar crumenophthalmus*)

鋭意調査中、次回も乞うご期待

水産研究課では、今回紹介したほかの魚でも標準和名と地方名の対応関係を調べていますので、まとまり次第、順次紹介していきたいと思っています。

善し悪しは別として、漁況の変化や魚の名前をインターネットで調べる方が多くなったことにより、地域固有の呼称は失われていく傾向にあるようです。調査では主に漁協の方から聞き取りをおこなっています。同じ地域（漁協）でも本稿で紹介した以外の地方名を使っておいでの方もいらっしゃると思います。不勉強で恐縮ですが、そのような方は是非、水産研究課まで御一報いただければ幸いです。

参考文献

藤沢正宏・青沼佳方・明仁・池田祐二・岩田明久・坂本勝一・島田和彦・瀬能宏・中坊徹次・波戸岡清峰・林公義・細谷和海・山田梅芳・吉野哲夫「日本産魚類検索－全魚種の同定－」（中坊徹次編）東海大学出版会，東京，1993

中坊徹次・岩田明久・波戸岡清峰・高崎冬樹・小西英人「釣魚検索」（小西英人編）株式会社週間釣りサンデー，大阪，1998